

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
 希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
 ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
 ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
 ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年9月9日配本** 定価2808円(本体2600円+税) 四六判上製・232頁
 バーバラ・エーレンライク、ディアドリー・イングリッシュ 著／長瀬 久子 訳
魔女・産婆・看護婦 (増補改訂版) ISBN978-4-588-35231-7 C0036
 ★★ 豊かな知恵と経験で身近な人々を治療していた女たちを、資格や免許がないという理由で迫害し、排除し、閉じ込めてきた歴史を明らかにする。1970年代にアメリカでパンフレットとして出版され、フェミニズムの古典となった「魔女・産婆・看護婦」と「女のやまい」を取めた初版に、その後の社会の変化を詳しく解説した序文を加え、訳文も全面的に改めた。 【医療・女性史】
 ☞ 関連書: 荻野美穂『女のからだ』(岩波新書)、塚原久美『中絶技術とリプロダクティヴ・ライツ』(勁草書房)。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年9月17日配本** 定価5184円(本体4800円+税) 四六判上製・520頁
 ジェラルド・ノワリエル 著／大中 一彌、川崎 亜紀子、太田 悠介 訳
フランスという坩堝 一九世紀から二〇世紀の移民史 ISBN978-4-588-01032-3 C1030
 ★★ 人権と平等の国フランスで、「移民」という現象は歴史的にどのように出現し、推移し、語られてきたか。国民国家の記憶と歴史記述のなかで長らく無視されてきた存在に光をあて、1988年の初版刊行以来、移民・外国人差別、脱植民地化の問題を論じる際の必須文献となった古典的研究。アナール派歴史学そのもののラディカルな認識論的問い直しから始まる、もう一つの「記憶」の歴史。 【歴史・社会】
 ☞ 関連書: D. シュナペール『市民の共同体』、C. ヨプケ『ヴェール論争』、S. ベンハビブ『他者の権利』など。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年9月18日配本** 定価4104円(本体3800円+税) A5判上製・350頁
 石原 あえか 著
近代測量史への旅 ゲーテ時代の自然景観図から明治日本の三角測量まで ISBN978-4-588-37123-3 C1020
 ★★ 「科学する詩人」ゲーテの生きた時代は、ヨーロッパが最新の三角測量技術を用いて地球の形状を測定し、正確な地図作成をめざした時代だった。当時の数多くの数学者・天文学者・測量技術者たちの発見と苦闘にみちた足跡を、同時代日本の地図作成のパイオニアたちとの学術的交流とともに描く。史料博搜と貴重な新資料 & 未公開図版でたどる、科学史研究の野心作。カラー口絵8頁。 【科学文化史・世界史】
 ☞ 『科学する詩人ゲーテ』(慶應義塾大学出版会、2010年)でサントリー学芸賞受賞の著者、渾身の科学文化史。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年9月中旬配本** 定価23760円(本体22000円+税) A5判上製・箱入・838頁
 ギヨーム・トマ・レーナル 著／大津 真作 訳
両インド史 西インド篇／上巻 ISBN978-4-588-15058-6 C3020
 本巻では、コロンブスのアメリカ大陸発見に続く、ヨーロッパによる中南米諸地域への入植が描かれる。アステカやインカの帝国を滅亡に追いやったスペイン人征服者たちの暴力、ポルトガルのブラジル支配、メキシコからチリまでの各地の文明・習俗や大陸の豊かな天然資源と開発、植民地化で活発化した交易と物資の移動など、近世史のパノラマをなす圧巻の叙述。本書後半の西インド篇、刊行開始。 【歴史・啓蒙思想】
 ☞ 18世紀のグローバルな世界像を映し出す記念碑的邦訳、全5巻の第3巻目。既刊『東インド篇』上・下も好評。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年9月下旬配本** 予価4536円(本体4200円+税) 四六判上製・368頁
 エリック・ヘライナー 著／矢野 修一、柴田 茂紀、山川 俊和、参川 城穂 訳
国家とグローバル金融 ISBN978-4-588-60341-9 C1330
 ★ 金融のグローバル化を市場の要請による必然的現象とする論調に疑問を呈し、ブレトン・ウッズ体制下における国家と政策決定者のリーダーシップの重要性を指摘した画期的研究にして、リーマン・ショック以降も刺激的な提言を続ける気鋭の経済学者の原点とも言うべき著作。1980年代に金融大国だった日本が、2000年代にイニシアティブを失っていく過程を論じる上でも欠かせない視座を示す。 【経済・国際政治】
 ☞ 関連書: 矢野修一『可能性の政治経済学』、A.O. ハーシュマン『連帯経済の可能性』(いずれも小局刊)ほか。

帖合・番線 部数 法政大学出版局 **2015年9月下旬配本** 定価5616円(本体5200円+税) A5判上製・398頁
 立花 史 著
マラルメの辞書学 ISBN978-4-588-49511-3 C1098
 ★ 19世紀後半のフランスで、一介の高校教師として英語を教えていた大詩人は、『英単語』という奇妙なテキストでいったい何を企図していたのか。マラルメ詩学の基礎をなす、文字や音のもつ神秘とその歴史性についての言語学的認識を、当時の古典語教育をめぐるジャーナリズム言説やヨーロッパ辞書学の系譜に位置づける前人未踏の探究。読み書きの根源に見出される「人文学」の問いとは何か? 【文学・思想・言語】
 ☞ 第1回「法政大学出版局学術図書刊行助成」による刊行、革新的なマラルメ論。類書: デリダ『散種』(小局刊)。

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等を e メールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。